

石狩川振興財団が札幌開発建設部から委託を受けて行った事業について紹介します。
札幌開発建設部では調査船「弁天丸」を活用して、「石狩川流域の水害や治水事業の歴史」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」などの学習活動を通じて、環境保全や防災に対する意識を高めていただくための支援活動を行っています。

平成 28 年度 石狩川下流河川総合学習支援業務
調査船等を活用した学習支援活動 第 9 回



◇平成 28 年 9 月 8 日 (木) 9:00~10:50
◇参加者 石狩市立双葉小学校 4 年生
児童 34 名 教諭 2 名

【学習コース】 弁天丸茨戸川上流コース (茨戸川艇庫船着き場→花畔大橋→水生植物群落 往復)

【学習行程】

時刻	学習内容	
	1 班	2 班
9:00~9:10	集合、挨拶、伝達事項等	
9:10~9:55	弁天丸乗船	植物観察
10:00~10:45	植物観察	弁天丸乗船
10:45~10:50	集合、挨拶、伝達事項等	

【学習内容】

◇弁天丸

- 船上から川や鳥、植物などの自然を観察
- カードを使って川の近郊にある施設探しとその役割を学習

◇植物観察

- 川の近くに生息する植物を観察
- 笹舟つくりと笹舟流し

【実施状況写真】



川の上の景色に歓声をあげる参加者



相談しながらカードのものを探します



橋の下には鳥の巣がありました



初めて見るガマの穂



トクサで歯磨き



クマイザサの名前の由来